

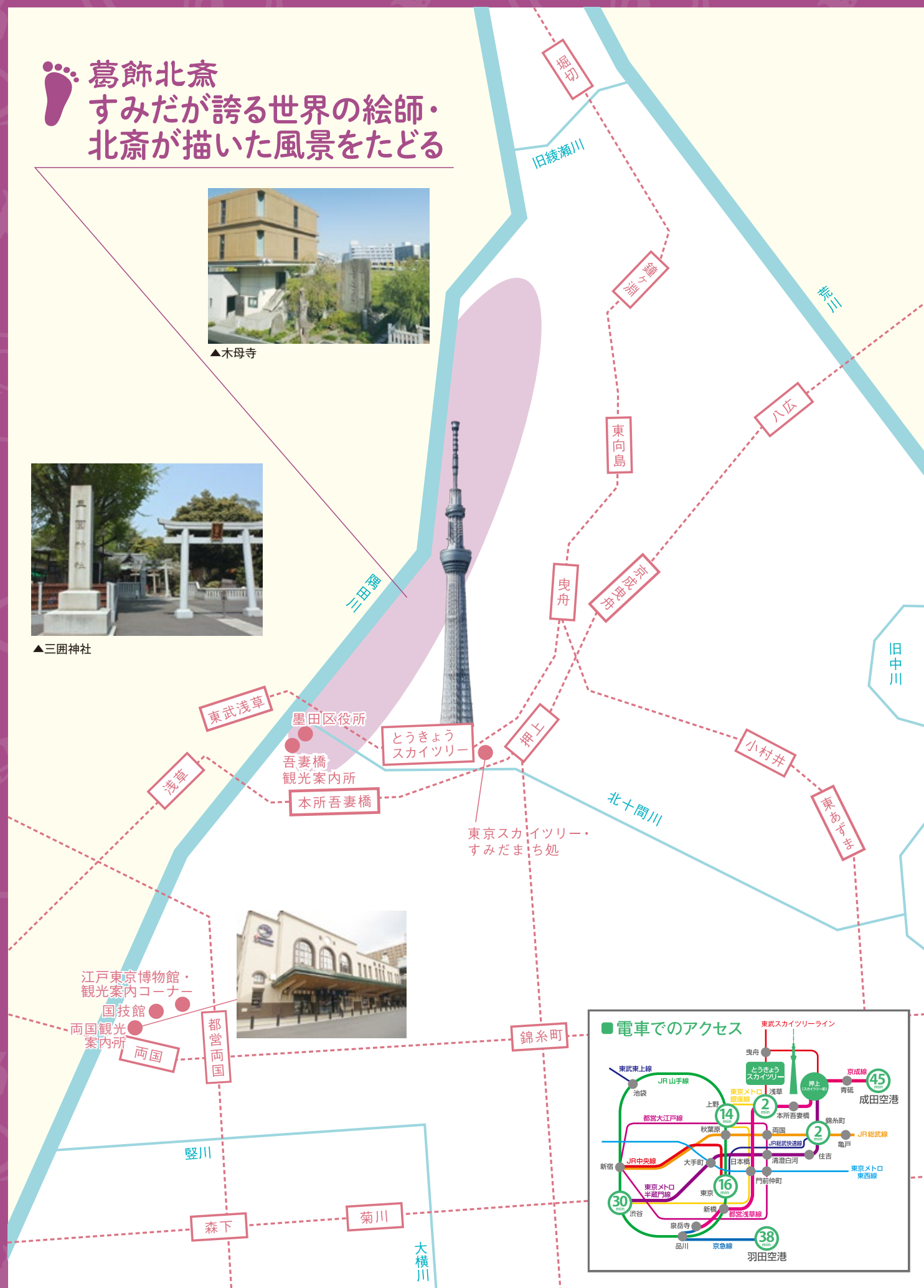
葛飾北斎
すみだが誇る世界の絵師・
北斎が描いた風景をたどる



▲木母寺



▲三囲神社



すみだ
まち歩き
博覧会
SUMIDA MACHIARUKI FES

葛飾北斎

すみだが誇る世界の絵師・ 北斎が描いた風景をたどる

隅田川沿岸エリア
SUMIDA-GAWA RIVER COAST AREA

隅田川神社



牛嶋神社

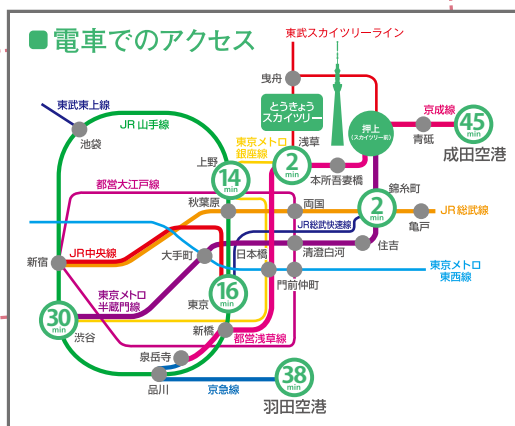


法泉寺



おすすめスポット

吾妻橋観光案内所
牛嶋神社
三囲神社
白鬚神社
法泉寺
隅田川神社
木母寺



葛飾北斎

すみだが誇る世界の絵師・
北斎が描いた風景をたどる

隅田川沿岸エリア

世界的にも評価が高い絵師・葛飾北斎は、生涯の大半を墨田区内で過ごし、大変多くの作品を残しました。北斎の作品を通じて、「すみだ」の今と昔をのぞいてみませんか。



1 吾妻橋観光案内所

「すみだ」の街を歩くには欠かせない観光マップやパンフレットを配布。英語でもご案内しています。併設のカフェでひと休みも。
【営業時間】 観光案内・展示即売9:00～17:00、カフェ11:00～16:30、17:30～20:00
【電話番号】 03-6658-8097



3 三國神社

江戸時代の三國神社が、「新橋浮絵三國牛御前両社の図」に描かれています。寛政11（1799）年に行われた三國神社の開帳では、北斎が絵を描いた提灯と絵額が評判を呼びました。



5 法泉寺

鎌倉幕府を滅亡させた新田義貞の守本尊が安置されていることで有名なお寺。参詣の様子を描いた「寺島法泉寺図」には、縁結びの神である金勢大明神の幟や石柱があります。法泉寺が金勢大明神を祀っていた記録が他になく、貴重な資料ともいわれています。



7 木母寺

『風流隅田川八景』の1枚「梅若の秋月」は、木母寺に伝わる「梅若伝説」を題材にしています。伝説では、平安時代の話とされていますが、この作品では、江戸時代に置き換えられて描かれています。

北斎の由来は「北斗七星」？



「柳嶋の妙見様」とも呼ばれる法性寺は、明応元（1492）年に開かれました。熱心な日蓮宗の信者で妙見菩薩を信仰していた北斎は、たびたび参詣していたといわれています。「北斎展政（とさまざ）」という画号は、北斗七星の化身といわれる妙見菩薩にちなんだものと考えられています。

ちよっと寄り道

埼玉屋小梅

明治30（1897）年に創業の和菓子店。店名の「小梅」は、かつての地名に由来しています。丹波産の大納言小豆と北海道産小豆を使用し、昔のりが美しい「小梅だんご」や「小梅饅頭」が有名です。

【定休日】 月曜（月曜が1日または祝日の場合は水曜）
【営業時間】 9:00～19:00 【電話番号】 03-3622-1214



まち歩きには墨田区内循環バス「1日乗車券（300円）」も便利！バス車内で購入できるほか、産業観光プラザ すみだ まち処、吾妻橋観光案内所、両国観光案内所等でも販売しています。